

No.019 手元にある素材でつくる幻想的なビジュアル



単体では使えなかった写真素材も描画モードを変化させてコラージュしていけば、複雑な質感を表現することができます。

使用する主な機能

逆光
描画モード[乗算 ソフトライト
オーバーレイ 焼き込みカラー]

バリエーション



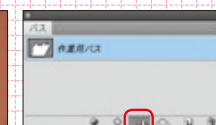
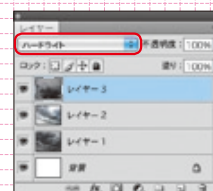
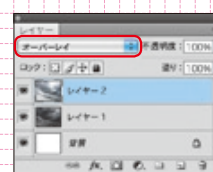
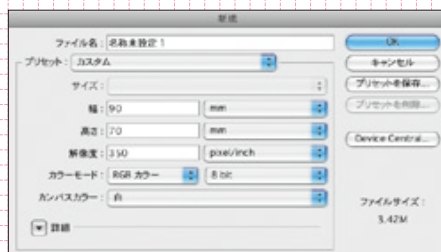
制作・文：中野貴志 (SMEAR GRAPH)

背景となる空の写真を合成する

OI [ファイル→新規...] を選択し、図の設定で新規ファイルを作成します。付属 CD-ROM に収録されている「空 1.jpg」を開き、**⌘** (Ctrl) + **A** ですべてを選択し、**⌘** (Ctrl) + **C** でコピーします。新規ファイルに戻り、**⌘** (Ctrl) + **V** でペーストします。「移動ツール」**⇧** を選択し、位置を調整します。

MEMO

配置したら素材写真は閉じて構いません。



O2 付属 CD-ROM に収録されている「空 2.jpg」を開き、**OI** と同様にメインファイルにペーストします。[レイヤー]パネルで[描画モード：オーバーレイ]に設定します。続けて「空 3.jpg」を開き、メインファイルにペーストして [描画モード：ハードライト] に設定します。

MEMO

写真の位置は好みで自由に調整しましょう。

手のビジュアルをつくる

O3 付属 CD-ROM に収録されている「手.jpg」を開きます。「ペンツール」**⇧** を選択し、使用する手の部分を囲んでいきます。囲み終わったら [パス] パネルの [パスを選択範囲として読み込む] **⇧** をクリックします。

MEMO

ペンツールによる選択範囲のつくり方は(P.015)で詳しく解説しています。

O4 **⌘** (Ctrl) + **C** でコピーし、メインファイルに戻り、**⌘** (Ctrl) + **V** でペーストします。[編集→変形→自由変形]を選択し、**⇧** (Shift) を押しながらバウンディングボックスのコーナーのポイントをドラッグして画像を縮小します。さらにドラッグで角度も調整し、コントロールパネルの **⇧** をクリックして変形を確定します。

MEMO

【編集→変形→自由変形】を実行するときは、**⇧** (Shift) を押しながらドラッグすると縦横比が維持されたまま拡大・縮小することができます。